



# インボイス制度の経過措置終了

渡辺 修 (みどり 21)

動画は  
こちらから



インボイス制度の経過措置終了を見据えた市内中小事業者への影響、法人税と違い赤字でも納税が発生する消費税の市内事業者への影響に関して質問した。

**Q** インボイス制度の導入及び経過措置の段階的終了が、市内中小事業者に与える影響を市はどう認識しているか。

**A** 制度開始後6年間は免税事業者からの課税仕入れにも一定割合を仕入税額として控除できるが、令和11年10月1日以降は控除できなくなるため、インボイス発行事業者でない事業者からの仕入れが敬遠されるのが予想される。

**Q** 特例縮小や2割特例終了により、消費税納税額の増加が見込まれる事業者の実態を市は把握しているか。

**A** 消費税は事業者が直接税務署へ申告するものであり、市では納税額に関する情報を保有していないため、影響の実態把握はできない。

**Q** 納税資金の確保に苦慮する小規模事業者への相談体制や支援策は。

**A** インボイス制度への対応に限らず、根本的な経営基盤強化が重要であり、産業支援センターでの専門家による経営相談や補助金活用相談を実施し、商工会などと連携しながら引き続き支援していく。

他に「気候変動下における農業用水の実態と多面的機能交付金の在り方」について質問しました。



# 菊川市立総合病院の運営

黒田 茂 (菊川ゆめ未来)

動画は  
こちらから



菊川市立総合病院は一般会計から多額の予算を繰り入れていますが、なお赤字が続く極めて危機的な状態にある。分娩休止など個別の対策は講じているが、経営の抜本的改善には至らず、人件費、材料費、光熱費の高騰など構造的な問題が重圧となっている。市の財政にも限界があるなか、将来的に地域医療の崩壊に繋がりがねない状況を踏まえ、病院の位置づけや将来像を明らかにし、経営改善策、広域医療連携、病院機能の在り方に対する市の見解について質問した。

**Q** 令和8年度に向けた具体的な経営改善策を伺う。

**A** 内科と整形外科を中心に基盤強化を図ることに加え、費用削減、病棟機能の再編による高齢者患者の積極的受入れ等、経営改善を図っていく。

**Q** 受診者負担増につながる診療報酬改定での赤字圧縮額を伺う。

**A** 試算では3億円の赤字改善

を望んでいるが、まだ1億円以上の赤字が出るのではないかと考えている。

**Q** 病院の経営責任者及び企業長は市長か病院長のどちらか伺う。

**A** 病院管理者は市長である。

**Q** 病院収入を伸ばす為に自由診療の人間ドック受診者を増やす計画があるか伺う。

**A** 現状の体制で最大限受入れ拡大する方針であるが、健診センターを大きくする計画は現在ない。

**Q** 病院の方向性は中東遠総合医療センターを中心核としたサテライト病院化、自立運営継続、他病院へ運営移譲のうち適切な選択を伺う。

**A** 今のところ自立運営である。

他に「市内祭典を観光資源にするために」について質問しました。

